

第 12 回 吹田市地域公共交通協議会 議事概要

日時:2025 年 8 月 26 日 (火) 10:00~11:30

場所:吹田市総合防災センター

6 階多目的ホール及び WEB 会議

1. 開会

事務局 開会あいさつ
<省略>

2. 議事

事務局 【吹田市公共交通維持・改善計画の見直しについて（資料 1）説明】

会長 資料 1 の 6 ページ目で中間評価値が 2026 年度の値となっています。2025～2026 年度で見直しとなると、公共交通の利用者数など、2027 年にしか確定しないものもあるのですが、事務局はどのように考えていますか。

事務局 現時点では既に中間目標値を超えているものもあり、傾向をみて今後の方針については、協議会でご意見をいただきながら決めていきたいと考えています。

会長 中間目標値の設定において、新型コロナウイルス感染症の流行から、鉄道や路線バスの利用者数が減ると想定していましたが、どのような根拠で数値設定していたでしょうか。

事務局 中間目標値は、新型コロナウイルス感染症の流行前の最大利用者数から、9 割の利用という設定となっています。

会長 わかりました。2024 年の値などを見ながら、皆さまと施策を考えていきたいとのことでした。その他ご意見はありますか。

委員 資料 1 の 11 ページについて、今回の見直しのレベルをどの程度考えているのか確認したいです。

会長 現在の計画を見ると、書ききれなかったことがありました。担い手確保では、運輸局や大阪府が協力してハローワーク等で取り組みは始めていることなどもあり、書き込みが必要と考えています。

ヒアリングをしながら事業設定するという話もあったので、主に事業 1～10 の枠組みは大きく変えないなかで、うまくいっていないことを洗い出し、改善をしていくものだと考えています。

事務局 会長のおっしゃるとおり、事業 1～10 の大きな変更は考えていません。計画冊子の 4-13 ページに事業スケジュールを示しており、その中で、新規で設定した取り組みを赤字で示しています。令和 9 年度以降は「見直し後実施予定」と記載しており、特にこれらの事業について、今後も継続していくのか、又は違った事業内容とするのかなどを考えていきます。

会長 今日の資料の意図としては、どの事業をやるかということではなく、見直しでどこまで踏み込むのかを議論することによいですか。

事務局 本日は計画見直しの進め方などについて、ご意見をいただきたいです。

副会長 2 点の意見があります。

1 点目は、計画の冒頭に記載されています「その他の関連計画」についても更新されるそうですが、他の計画についても見直しが行われているのであれば、それらの計画が更新されていれば、本計画への連動についても確認し反映していただきたいです。

2 点目は、中間目標値を達成しているものもあるとのことで素晴らしいと感じています。更にチャレンジングな目標や施策も考えていいのかと受け止めており、その観点でも議論いただく必要があるのではないかと思います。

会長 1 点目は、自転車活用推進計画やバリアフリーなどが更新されているかと思っていますので、事務局で整理をお願いします。

2 点目は、検討を要すると思います。先ほどの赤字で示した事業の実施を検討するにあたり、目標値を達成しているのに推進するという論理的な整合が取れない危険性もあります。現行計画 4-2 ページに施策と目標の関係を示しているため、詳細を見ていきながら必要に応じて見直す必要があるのではないのでしょうか。

副会長 現況のサービスをより高めるよりも、もう少し将来的な投資に重点を置いても良いのではないのでしょうか。例えば、現在実施している小・中学生に対する路線バスの無料乗車券の配布事業など、10 年後あるいは 20 年後の需要を掘り起こす施策が挙げられます。一方で、運転手不足は喫緊の課題であり、その辺りのバランスをとる必要があるとも思います。

事務局 小・中学生の路線バスの無料乗車券の配布事業については、補助金など財政的なこともあり、今回の見直しでアンケートを実施し、検証を行う予定です。その上で、より良い制度創設ができるような見直しができればと思います。

会長 そのほか、皆様いかがですか。事業者の皆さまもよろしいですか。今後、ヒアリングをして、施策がうまく動いているかなど確認していきますので、その際はぜひご協力をお願いします。

委員 （意見なし）

会長 今回は、説明があった通り、見直しの手順として今年・来年で見直すこと、まずは調査を行うこと、その中で目標値・施策を見直す可能性があることを確認した。そちらの議論をまた皆さままでお願いします。

 それでは、議題 2 について、事務局より説明をお願いします。

事務局 【市民アンケートの実施について（資料 2）説明】

会長 ありがとうございます。
それでは、資料 2 についてご質問・ご意見はありますでしょうか。

委員 問 15 の質問文で、バス業界の現状について、「少子高齢化や労働条件の厳しさ」と書かれていますが、厳しいなら就職しないでおこうという意識が働かないように、「働き方改革などをしている」などの前向きな方向の記載としていただきたいです。

 問 16 の公的負担について、その負担を誰がするかというところで、利用者が負担するのか、利用者以外のその他が負担するかを明確にしてほしいです。滋賀県の交通税のように、利用者だけが負担するのではない意識が働くような内容になればと思います。

 問 17 の回答選択肢について、「運行の邪魔にならないよう心がける」など、公共交通を利用しない方々の支援についても追加するのはいかがでしょうか。

会長 問 15 の人材不足は、どの業界も一緒に大学も人手不足です。「若年層の業界離れ」とするなど、バス事業者と相談いただき文章の修正を検討してください。

 問 16 は、聞いていることとしては「公費負担をするか」ですが、その負担の仕方を回答する構成になっています。委員のご指摘を踏まえると運賃値上げすべきというのが前段にあり、公費負担すべきかを聞く必要があります。一方で質問文を維持した場合、市で負担すべきかにイエス・ノーを回答いただく形になるかと思います。

 事業者の意見も伺いたいです。運賃値上げの話を記載した場合、話がそちらに進んでいくため、避けるのであれば今の事務局案をベースに修正していくべきかと思いますが、いかがでしょうか。

委員 バスの運賃のあり方、運賃の値上げについて問われていると解釈されることは避けてほしいです。公的負担にフォーカスした質問のほうが良いと思います。

会長 いかがでしょうか。

委員 大丈夫です。

会長 それでは、問 15 は質問文の修正、問 16 は選択肢の修正、問 17 は選択肢の追加で対応したいと思います。

委員 アンケートの中に環境負荷の低減に関する質問がないと思います。鉄道事業者も非化石燃料を使って事業展開することを目標としているので、バスで言えば、電気自動車（EV）など、このような観点からマイカーではなく公共交通を利用することにつなげていく設問を入れてはどうでしょうか。

会長 今回のアンケートの趣旨は、既存事業の確認であるため、前提として環境負荷低減についての事業メニューがありません。確かにアピールしたほうが良いですが悩ましいです。事務局はいかがですか。

副会長 環境負荷について、要素を盛り込めていないことは認識しています。ほかにも網羅しきれていない部分もあるため、自由意見で補足いただければと考えています。

会長 最終的にもっと高い目標を目指すうえで、環境に関連する目標を立てるか否かだと思います。環境負荷の低減のために、公共交通の利用促進について必要か否かを市民に伺ったうえで、ある一定以上の数を超えれば、環境負荷の目標を入れるかどうかを決めるという流れかだと思います。

ゆくゆくは財源確保のために、このアンケートの結果を根拠として、これだけの市民意識が環境に向いているので、環境に関連する目標に掲げますというストーリーになると思いますが、そこまで今回踏み込むかどうかではないでしょうか。

その場合、問 20 などにもう 1 問追加することになるかと思います。新たに設問を追加する可能性があるというところで、この場で決めるというよりかは、全体の紙面構成を含めて調整したいです。

委員 このアンケートは、市民全体の傾向を把握することと、前回との比較を行うものであると理解しています。回答選択肢にその他の欄もあるということは、ローカルな指摘についても抽出していくという理解でよいでしょうか。

また、問 8 の路線バスについては、不満のある方々の意見を聞いていると思いますが、すいすいバスについては利用していない人に対してなぜ利用していないかという質問になっています。利用している人の不満点も確認する必要があるのではないのでしょうか。

会長 1 点目については、ローカルな意見について抽出するよりも、設問の集計がメインとなっています。

2 点目については、事務局から回答をお願いします。

事務局 現在、8 月 7 日から 9 月 10 日までの間で、すいすいバス利用者に対してアンケートを実施しています。その中で、利用者の意見として改善点や満足度を把握することとしており、今回の市民アンケートでは利用していない方へ焦点を当てた構成としています。

会長 問 10 について、利用者に回答いただいても不都合はないかと思います。問 9 はそのままとしますが、問 10 の聞き方を変えても良いのではないのでしょうか。ただし、質問数とスペースの問題があるため、事務局と調整したいと思います。

委員 問 16～18 は、質問の順番を変えても良いのではないのでしょうか。公共交通を維持するうえでどう考えるかに重点を置いてほしいと思います。公費負担がゴールにならないように意識いただきたいです。

会長 公共交通の支え方というのは、いろいろ考えると交通税のような形になるかと思います。問 17 が先にでてきても良いのではないかというご意見でした。順番を考えていきたいと思います。また、問 18 は今後の取り組みの話であり、そのままの位置でも良いのではないかと思います。

会長 問 18 の選択肢にライドシェアがありますが、ライドシェアに税金を投入することはないと思うので、問 18 の選択肢に入れなくてもよいのではないのでしょうか。地方では、地元で行政と公共ライドシェアを実施することはありませんが、吹田市でいうと今後行政が力を入れて実施していくものなのか分からないですね。また、万博ライドシェアは万博期間中だけでしょうか。

委員 はい、期間限定です。

副会長 吹田市としては、公共交通の維持が比較的困難な状況ではないと思います。このため、市民感覚としての意識もあまりないのではないのでしょうか。このようなことから、問 15、問 16 は、公共交通の状況を理解してもらう設問だと考

えています。そのうえで、何ができるかを問 17 で確認するという流れであると捉えています。

また、問 17 は、非常に重要な設問ではありますが、現状をある程度把握していなければ、そもそも協力する必要はあるのかという意識も働きかねないです。その意味では、問 18 においても、何が良いですかと聞かれても、新たな取り組みであるため良くわからないというのが正直なところだと思います。参考資料はありますが、メリット・デメリットを整理し、説明文を読むこと自体が一種の啓発になるような意図を持っても良いのではないのでしょうか。

委員 ライドシェアについては、会長がおっしゃるようにプラットフォームを意識してしまいます。ライドシェアを残すのであれば「日本版ライドシェア」とするなどタクシー事業者と相談してください。

問 9 のすいすいバスについて、市民の方は、すいすいバスをご存じでしょうか。設問を分けている意図がわかるよう、すいすいバスは公費負担で運行しているなど、注釈をいれても良いのではないのでしょうか。

会長 1 点目は、ご意見のとおり残すのであれば「日本版ライドシェア」に修正したほうが良いと思います。2 点目については、市民感覚として市民委員の方がかでしょうか。

委員 アンケートの配布地域を見ましたが、すいすいバスの影響するエリアもあれば、そうではないエリアもあります。すいすいバスと民間の路線バスの問題点は違いがあると思うので、一体として聞くのは違うのではないかと感じます。

会長 ご指摘を踏まえると、そもそも利用する機会が無いから利用していない方もいるということですね。このため、問 10 の回答選択肢に「運行範囲外だから」を追加すべきではないのでしょうか。

委員 私はすいすいバスの運行している地域に住んでおり、実感として、すいすいバスと民間の路線バスを一緒に考えている方もいると思います。したがって、啓蒙の意味を込めて、すいすいバスは吹田市が主体となりながら委託運行していることを伝えるのも意味があるのではないのでしょうか。

会長 2 名の市民の方からご意見をいただき、説明を追加したほうが良いのではとのことでした。考慮したいと思いますが、紙面が限られるため、事務局と私で調整をさせていただきたいです。

また、副会長からお話のあった、メリット・デメリットをまとめるということで、先生もお忙しいと思いますが、資料作成にご協力いただきたいです。

副会長 わかりました。

- 会長** 後は紙面の問題があります。
- 事務局としては、あまり用紙の枚数を増やしたくないと思いますので、規格は現在のままとします。また、今いただいたご意見は、それぞれ重要だと思うため、取り入れていく方針で内容を検討します。
- 修正については、会長・副会長と事務局との協議で対応するため、一任いただきたいです。
- 委員** 問 8 について、路線バスを利用しない人が利用しない理由を聞いた方がいいのではないかと。その方々が乗ってくれるようにすることで維持につながるのではないかと。
- 会長** バスに乗らない人の理由を聞けないのは良くないため、理由を答えてもらえるように修正したいと思います。乗った・乗らないかは問 3 で特定することも可能です。問 8・9 で理由を書いていただくなど注意文の削除と説明文の修正で対応します。
- こちらで進めてしまっていますが、事務局から意見はありますか。
- 事務局** 特にございません。
- 会長** 先ほど話をしたとおり、いただいたご意見の部分を修正します。スケジュールの関係から、再度委員に意見を求めることは難しいかと思ひます。
- このため、意見を参考としたうえで、紙面に納めるという意図の中で、会長・副会長と事務局の方で調整をしたいと考えています。そのような扱いでよろしいでしょうか。
- 委員** （異議なし）
- 会長** それでは、議題 3 について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局** 【令和 7 年度実施事業について（資料 3）説明】
- 会長** ありがとうございます。何かご意見はありますでしょうか。
- 会長** 議題 1 に戻る内容で申し訳ないのですが、先日、YouTube を見ていた時に、箕面市の公共交通に関する動画を見ました。計画を作って計画書として出すのも大事ですが、見やすいように説明動画を作られており、これは良いと感じました。動画であれば、市民の方が目にする機会も増えるのではないのでしょうか。可能であれば、公表の仕方の検討もお願いします。
- その他、事務局から何かございますか。

事務局 特にございません。

会長 ご参加の皆さまから情報提供やお話をすることがあればご発言をお願いします。

委員 (意見なし)

3. 閉会

事務局 閉会あいさつ
<省略>

以 上